はじめに／共通

HS709D-A
HS709D-W
HS309-A
HS309-W

☆印：HS709D-A／HS709D-W

本機で再生できるディスク

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL		
		MP3	WMA	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

⚠注意 すでにディスクが入っている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CD-G
- CD-EXTRA
- DVD-ROM
- フォトCD
- VIDEO CD
- DVD-RAM
- CD-ROM
- SA-CD
- DVDオーディオ
- Blu-ray
- HD DVD
- SVCD

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態
- ディスクと本機の相性
- 記録に使用したレコーダの種類
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3につきましては「MP3／WMAについて」98～103ページをご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。283、306、307ページ
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。
「●DVD再生ディスク一覧表」283ページ

※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■dts-CD(dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD)について

CDモードでは再生できます。MUSIC STOCKERモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に[CDロゴ] COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

データベースについて

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMUSIC STOCKER PRO／MUSIC STOCKERに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2009 Gracenote.
Gracenote Software：Copyright©2000-2009 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：＃5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください
:www.gracenote.com/corporate

アドバイス

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenoteデータベースのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。
Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。
Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

BeatJamについて☆

同梱のCD-ROMでBeatJamをパソコンにインストールすることにより株式会社ジャストシステムのBeatJamサービスを利用することができます。☞68～80ページ

☆印：HS709D-A／HS709D-W

SDカード／USBメモリデバイスについて

■SDロゴは商標です。

■SDHCロゴは商標です。

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■16GBまでの容量の“SDカード”“USBメモリデバイス”に対応しています。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン☆です。
USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン☆以外のものは接続しないでください。
動作保証できません。☞232、233ページ参照
※別売のiPod用USBケーブルを使用すれば、iPodを再生させることもできます。
☞259ページ

■フォーマット(初期化)について
- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
  ☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)
  「データを初期化(消去)する」307、308ページ
  ※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なってから使用してください。
- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。(FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。)

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。

■SDカード挿入口やUSBの端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／本機にデータ転送中は抜かないでください。また、車のキースイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できません。

■静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

■本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
- Gracenoteデータベースのアップデート／BeatJam
  「データ管理」58〜64、68〜70☆、77〜80☆ページ
- 画像の追加やコピー☆
  別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）
  「画像を追加する」270〜272ページ
  「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」273〜275ページ
- 画像の閲覧★「Photo機能を使う」424〜431ページ
- 音楽再生「音楽ファイルモードを使う」222〜229ページ
- 映像再生☆「映像ファイルモードを使う」190〜193ページ
- FM録音／再生☆「FM録音の設定をする」52〜55ページ／
  「FM自動録音時の周波数を設定する」56、57ページ
  「FM放送を手動録音する」171〜173ページ
  「エフエムストッカーモードを使う」198〜221ページ
- ワンセグ録画／再生☆「TVを使う〔12セグ／ワンセグ〕」382、383ページ／
  「ビデオストッカーモードを使う」194〜197ページ

- 指定Webサイトからダウンロードした地点を確認したり、保存したルートを本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。
  別冊の取扱説明書ナビゲーション（詳細版）103、104、142〜144、244〜246ページ

■本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
- Gracenoteデータベースのアップデート「データ管理」58〜64ページ
- 画像の追加やコピー☆
  別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）
  「画像を追加する」258〜260ページ
  「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」273〜275ページ
- 画像の閲覧★「Photo機能を使う」424〜431ページ
- 音楽再生231〜253ページ

■SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。

■長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。

■SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。

■SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。

■SDカードに誤消去防止スイッチ（LOCK）が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化（フォーマット）できません。「LOCK」を解除してください。

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

☆印：HS709D-A／HS709D-W
★印：HS309-A／HS309-W

DVDビデオについて

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕

DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。

アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

- **マクロビジョン**

  本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

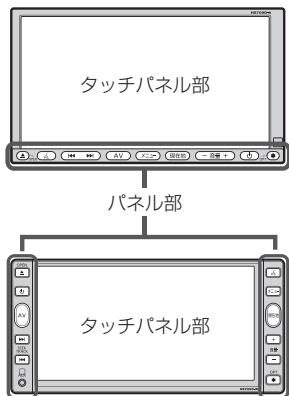
- **ドルビーデジタル**

  本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- dts

米国特許番号：5,451,942；5,956,674；5,974,380；5,978,762；6,487,535、およびその他の米国や世界中に申請中並びに審理中の特許ライセンスに基づき製造されています。DTSは登録商標です。DTSロゴとシンボルおよび2,0 ChannelはDTS, Inc.の商標です。

はじめに(1)

（例）

本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の"○○ボタンをタッチする"
パネル部*のボタンはパネルの"○○ボタンを押す"と記載しています。
（＊：使用するボタンは白色表示しています。）

※本書のマークについて

- アドバイス…本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
- ………………画面上でタッチパネル操作を表します。
- ■／□ …………操作手順が次のステップでわかれるときの案内をします。
- ：………………操作上で操作を行なった結果を説明します。
- メニュー ……パネル部のボタンを表します。
- AM ……………タッチパネル部のボタンを表します。

●各型式のパネル部の詳細につきましては別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）44、45ページを参照ください。

●ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
●オーディオ画面とはCD／DVD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／AUX★／VTR／MUSIC STOCKER／TV／Bluetooth Audio☆／Photo★／iPodモード時を示します。（モード指定がある場合は明記しています。）
※iPodビデオと記載している場合は映像データを表します。
※各モードの有無につきましては18、20ページを参照ください。

☆印：HS709D-A／HS709D-W、★印：HS309-A／HS309-W

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 2（18ページ)へ進んでください。

車のキースイッチを「ACC」または「ON」に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）46ページを参照してください。

起動初期画面

モード表示画面（USBモード画面（例））

USBモード選択中

⚠注意 「ACC」（エンジンを停止したまま）で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

■ ナビゲーション画面または他のモードが表示された場合

①パネルの AV ボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

②操作したいモード(CD／DVD ／ Radio ／ SD ／ USB／iPod ／ VTR ☆／ AUX／VTR ★／ MUSIC STOCKER ／ TV ／ Bluetooth Audio ☆／ Photo ★／ iPod)ボタンをタッチする。 ☆印：HS709D-A／HS709D-W、★印：HS309-A／HS309-W

AV SOURCE画面(下記)に表示されるモードボタン(各機能)は型式によって異なります。
また、各ボタンの詳細につきましては20ページアドバイスを参照してください。

AV SOURCE画面

HS709D-A

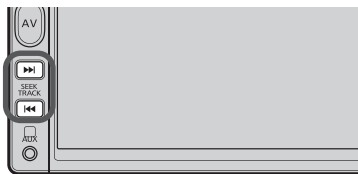
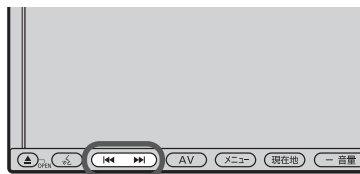
HS309-A

HS709D-W

HS309-W

■ 操作したいモード画面が表示された場合

84～449ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。

アドバイス

●各モードに合わせて呼び名を変えています。

トラック…CD／MP3／WMA／SD（エフエムストッカーモード☆／音楽ファイルモード）／USB／
MUSIC STOCKER／iPod／Bluetooth Audio☆
選局………TV／Radio
スキップ…DVD／SD（映像ファイルモード☆／ビデオストッカーモード☆）／Photo★

☆印：HS709D-A／HS709D-W、★印：HS309-A／HS309-W

●本説明書に記載のパネルのイラストは代表型式としてHS709D-A／HS709D-Wを記載しています。
HS309-A／HS309-Wに［発話］ボタン（発話）はありません。［交通情報］ボタン（交通情報）が配置されています。

設定の保持について

決定ボタンのある画面では、**決定**ボタンをタッチすると設定が保持されます。
決定ボタンをタッチしないで**戻る**ボタンをタッチまたは［メニュー］／［現在地］ボタンを押すと設定は保持されません。
※**決定**ボタンのない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定（設定保持）となります。
（例：映像／オーディオ調整など）

AV SOURCE画面のモードボタンについて

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

選択可能モードはモードをあらわす文字が白色表示*1

選択不可能モードはモードをあらわす文字が灰色表示

＊1印：SDカード未挿入／iPod・USB未接続の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。
＊2印：＊3のとき、一度他のモードにすると選択不可（＊2の状態）となります。

※モードボタンの色はメニュー配色の設定より変更できます。 28、29ページ

● CD／DVD表示について

CD／DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD／DVD未挿入時*2　　CD選択再生中にディスクを抜いたとき*3

CD／MP3／WMAディスクを挿入し再生時

DVDディスクを挿入し再生時

アドバイス

● 各モードボタンをタッチすることによって各々のモードへと切り替わります。

CD／DVD ＝CD/DVD/MP3/WMAモード
Radio ＝Radioモード
SD ＝SDモード
USB／iPod ＝USBモード
VTR ＝VTRモード☆
AUX／VTR ＝AUX／VTRモード★
MUSIC STOCKER ＝MUSIC STOCKERモード（MUSIC STORCKER PRO☆／MUSIC STORCKER★）
TV ＝TVモード（12セグ／ワンセグ☆・ワンセグ★）
Bluetooth Audio ＝Bluetooth Audioモード☆
Photo ＝Photoモード★
iPod ＝iPodモード

※ CD／DVD ボタンはディスク挿入の有無によって CD ボタン、 DVD ボタンと表示が変わります。
※SDモードを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。
※iPodモードを使用するには付属のiPod用接続ケーブルまたは別売のiPodアダプターが必要となります。（型式によって異なります。） 258ページ参照ください。
※USBモードを使用するにはUSBメモリデバイスを、本機から出ているUSB接続ケーブルに接続しておく必要があります。（別売のiPod用USBケーブルを使用すると、USBモードでiPodを再生させることができます。 259ページ参照）
※HS309-A／HS309-Wで12セグ／ワンセグを受信するには別売の12＋1セグ地上デジタルテレビ放送用チューナーの接続が必要となります。
※各モードは型式によって異なります。AV SOURCE画面（18ページ）、表2に記載の表を参照ください。

☆印：HS709D-A／HS709D-W、★印：HS309-A／HS309-W

AV MENU画面について

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

AV MENU画面に表示されるボタン（各機能（☞30〜41、44、54〜81ページ））は型式によって異なります。

※共通仕様の場合、本書では代表としてHS709D-A／HS709D-Wを記載しています。HS309-A／HS309-Wの画面につきましては下記を参照してください。

HS709D-A／HS709D-W

HS309-A／HS309-W

アドバイス

AV MENU画面は選択するボタン（AUDIO設定／システム設定）によってAUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

AUDIO設定のAV MENU画面

システム設定のAV MENU画面

※AV MENUは最終選択時の状態を保持するため、状態によってはAUDIO設定またはシステム設定ボタン選択の操作は省略することができます。

※システム設定ボタン選択時に表示されるAV MENUの各機能につきましては☞別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）「システム設定」259〜309ページを参照ください。

フェード・バランス設定画面について

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

フェード・バランス設定画面に表示されるボタン（各機能（☞38〜41ページ））は型式によって異なります。

HS709D-A／HS709D-W

HS309-A／HS309-W

音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

各モードの画面で、
パネルの 現在地 ボタンを押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

①パネルの AV ボタンを押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、パネルの 現在地 ボタンを押してください。

(例)

アドバイス

音量調整や ⏮/⏭ ／ ⏮ ⏭ ボタンを使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのままで、画面を消す

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

パネルの ⏻ ボタン（AV電源）を2秒以上押す。

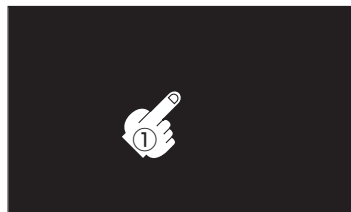
：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

再度、画面を表示する場合

① **画面をタッチする。**

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。

※ ⏻ ボタン（AV電源）を押しても画面を表示させることができます。

①

アドバイス

- 音声はそのままで選択中モードの情報（トラック名や再生時間、時計表示など）を一部残し広範囲を壁紙表示にすることができます。
  「壁紙を表示する」491ページ☆
  ☆印：HS709D-A／HS709D-W
- ✱ ボタン（オプション）に画面消し機能を設定している場合は、このボタンを押して画面表示のON／OFFをすることができます。
  別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）261、262ページ

音量を調整する

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

1 パネルの［－音量＋］／［＋］［－］ボタン(音量)を押す。

USBモード(例)

1 ［－音量＋］ボタン(音量)

USBモード(例)

1 ［－］［＋］ボタン(音量)

：音量を調整すると画面に現在の音の大きさ(0～31)を示す音量表示が表示されます。
　音量表示は約2秒間表示されます。
　＋：音量を上げます。(大きくなります。)
　－：音量を下げます。(小さくなります。)

※押しつづけて調整することもできます。

アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。
  ☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)
  「音声案内の音量を調整／案内設定をする」227～229ページ
- 音量は各モードで個別に設定できます。
- ［✱］ボタン(オプション)にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
  ☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)「オプションボタンの設定をする」261、262ページ

映像の調整のしかた(1)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

CD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／AUX／MUSIC STOCKER／Bluetooth Audio☆／Photo★／iPodモード画面のとき、明るさ／コントラストの調整ができます。DVD／VTR／TV／SD(映像ファイルモード☆／ビデオストッカーモード☆)／iPodビデオモード画面のときは、色の濃さ／色合い／明るさ／コントラスト調整／ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ／コントラストのレベル調整となります。)

＊印：ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、TVモードの場合はフル固定となります。

☆印：HS709D-A／HS709D-W、★印：HS309-A／HS309-W

アドバイス

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、CD／MP3／WMA／Radio／SD／USB／MUSIC STOCKER／Radio／USB／Bluetooth Audio☆／iPodの画面、DVD／VTR／TV／SD(映像ファイルモード☆／ビデオストッカーモード☆)／iPodビデオの画面で別々に調整することができます。

1 パネルの メニュー ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。

アドバイス

(✱)ボタン(オプション)に画質調整機能を設定している場合は、このボタンを押して画面調整画面を表示させることができます。

別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)「オプションボタンの設定をする」261、262ページ

2 画面の 画質調整 ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面(例)

DVD／VTR／SD(映像ファイルモード☆／ビデオストッカーモード☆)／iPodビデオモード画面の場合に表示されます。

「■ ディスプレイ選択の場合」27ページ

3 調整したい項目(明るさ ／ コントラスト ／ 色の濃さ ／ 色合い ボタン)をタッチする。

画質調整画面(例)

画質調整画面(例)

4 画面の ◀ ／ ▶ ボタンをタッチして値を調整する。

アドバイス

調整はタッチパネルの ◀ ボタンまたは ▶ ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ(1〜31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると暗くなり、▶ ボタンをタッチすると明るくなる。

アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、各々、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、各々、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1〜31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると黒さが増し、▶ ボタンをタッチすると白さが増す。

アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(＋側へ) ▶ ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1〜31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると淡くなり、▶ ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1〜31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると赤が強くなり、▶ ボタンをタッチすると緑が強くなる。

アドバイス

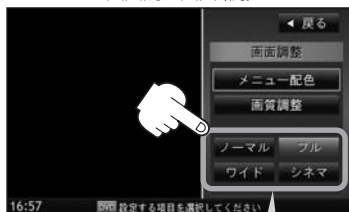
人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合 （DVD／VTR／SD（映像ファイルモード☆／ビデオストッカーモード☆）／iPodビデオモード画面の場合）

手順 1 （25ページ）で画面調整画面を表示する。

ノーマル／フル／ワイド／シネマの4つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

☆印：HS709D-A／HS709D-W

画面調整画面（例）

ノーマル	：4：3の映像の画面
フ　ル	：4：3の映像を左右に引き伸ばし、16：9にした画面
ワイド	："フル"の違和感を少なくした画面
シネマ	：4：3の映像をそのまま拡大した画面

アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- TVモードの場合はフル固定となります。
- SDの映像ファイルモードとビデオストッカーモードの画面調整は共通となります。☆

5 **設定を終わるには…**
画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

画質調整を初期値に戻すには

手順 3 、4 （25、26ページ）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

画質調整画面で画面の 初期値 ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面（例）

メニューの配色を変える

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

背景や情報バーなどの色を変えることができます。

パネルの［メニュー］ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。

2

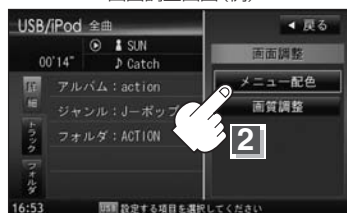
画面の メニュー配色 ボタンをタッチする。

：配色設定画面が表示されます。

※画面調整画面は、画面に映像を表示するモードの場合、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。

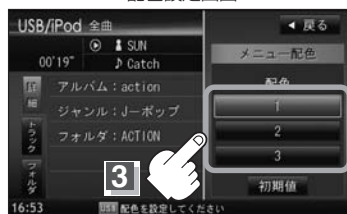
「■ ディスプレイ選択の場合 」27ページ

画面調整画面（例）

3

お好みの配色（1／2／3ボタン）をタッチする。

：3種類の配色パターンが選択できます。

配色設定画面

4

設定を終わるには…
画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

メニューの配色を初期値に戻すには

手順 3 (28ページ)で変更した配色(1／2／3)を変更する前の値(初期値)に戻すことができます。

配色設定画面で画面の 初期値 ボタンをタッチする。

：変更した配色が工場出荷時の値に戻ります。

配色設定画面

音場(臨場感)を変えるには☆

☆印：HS709D-A／HS709D-W

※AV電源OFFの場合、音場(臨場感)を変えることはできません。

1 **オーディオ画面でパネルの メニュー ボタンを押す。**

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は メニュー ボタンを2回押します。

※音場はLIVE／HALL／STADIUM／CHURCH／SRS CS Autoの5種類です。

2 **画面の AUDIO設定 の 音場 ボタンをタッチする。**

：音場設定画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス

交通情報受信画面(☞168ページ)の場合、音場(臨場感)は得られません。(音場 ボタンは選択できません。)

3 **お好みの音場(DSP／SRS CS Auto)を選択します。**

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

LIVE(ライブ)：音場をライブハウス／
HALL(ホール)：音場をコンサートホール／
STADIUM(スタジアム)：音場をスタジアム／
CHURCH(チャーチ)：音場を残響音の多い教会に設定します。

① DSP ボタンをタッチし、お好みの音場(LIVE ／ HALL ／ STADIUM ／ CHURCH ボタン)をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)

DSP選択時SRS CS Autoは設定できません。(※SRS CS Autoの同時使用はできません。)

■ SRS CS Autoを使用する場合

センタースピーカーやサブウーファーがなくても4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

① SRS CS Auto ボタンをタッチする。

：SRSの音場効果で再生されます。

音場選択画面

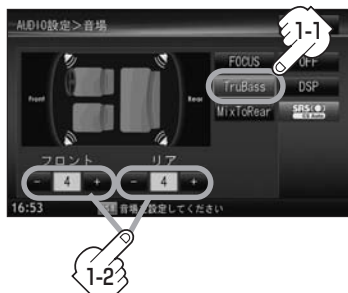
●SRS CS Autoを選択したときは…

1. 各項目(FOCUS ／ TruBass ／ MixToRear)ボタンと − ／ ＋ ボタンをタッチして音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好みの値に調整することができます。

SRS FOCUS（フォーカス）：耳の高さから音が聞こえるように調整できます。
SRS TruBass（トゥルーバス）：低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
（サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。）
SRS MixToRear（ミックストゥリヤ）：フロントの音をリアにふり分けることができます。
（後席でもセリフなどを聞きやすくできます。）

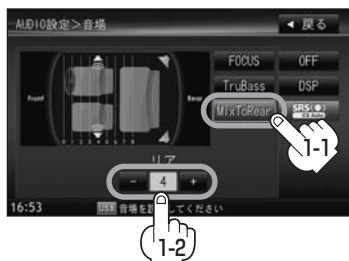
□ **FOCUS を選択した場合**

フロントまたはリアの音の高さを
− ボタンタッチで低くし(0〜8)、
＋ ボタンタッチで高くします。(0〜8)

□ **TruBass を選択した場合**

フロントまたはリアの低音のレベルを
− ボタンタッチで下げ(弱くし)(0〜8)、
＋ ボタンタッチで上げ(強くし)ます。(0〜8)

オーディオの調整をする(2)

HS709D-A
HS709D-W

□ MixToRear を選択した場合

フロントスピーカーの成分をリアスピーカーへ
− ボタンタッチでレベルを下げ(出力を弱める)(0〜8)、
＋ ボタンタッチでレベルを上げ(出力を強め)ます。(0〜8)

アドバイス

- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は画面の OFF ボタンをタッチしてください。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストは音場をあらわすためのイメージ図です。

4 設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

USBモードTOP画面(例)

手順 3 で選択した音場が表示されます。

- 手順 3 (31ページ)でSRS CS Autoを選択するとイコライザの設定(☞33〜35ページ)は自動的に OFF 選択となります。
- SRS CS Auto はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

イコライザ(音質)を変えるには☆

☆印：HS709D-A／HS709D-W

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザの中心周波数や効果を自在に調整することができるため、微妙な音響調整をすることができます。

※AV電源OFFの場合、イコライザの設定をすることはできません。

1 オーディオ画面でパネルの メニュー ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は メニュー ボタンを2回押します。

2 画面の AUDIO設定 の イコライザ ボタンをタッチする。

：イコライザ画面が表示されます。

AV MENU画面

3 お好みの音質の選択または中心周波数(周波数帯域)の設定をします。

■ お好みの音質を選択する場合

①音質ボタン(ポップス ／ ロック ／ ジャズ ／ ユーザー)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

☞34ページ

イコライザ画面

アドバイス

ポップス ／ ロック ／ ジャズ は本機に既存の値が設定されています。 ユーザー ボタンのイコライザの値はOFF状態(±0)に設定されています。

※お好きな値に調整することもできます。☞34ページ

オーディオの調整をする(3)

HS709D-A
HS709D-W

□ お好きな値に調整するには…

1. 値を調整する。

：イコライザをタッチする方法と ▲／▼ をタッチして調整する方法の2種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン

イコライザ

※イコライザの▬の部分が値(レベル)を表します。

2. 登録 ボタンをタッチする。

：調整した値で保存されます。

アドバイス

Band1の値を調整するとBASSの値が、Band7の値を調整するとTREBLEの値がそれぞれ変化します。

「フェード・バランスの調整をするには」38～41ページ

■ 中心周波数と効果を設定する場合

①設定したい音質ボタン(ポップス ／ ロック ／ ジャズ ／ ユーザー)をタッチし、 周波数設定 ボタンをタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

②調整したい帯域(Band1～7)を選択し、中心周波数または効果範囲の ▲／▼ をタッチする。

(例)Band1を選択した場合

● ▲：中心周波数アップ／▼：中心周波数ダウン
● ▲／▼で効果範囲の大→中→小の切り換え

③ 戻る ボタンをタッチする。

：調整した値を保持しながらイコライザ画面に戻ります。

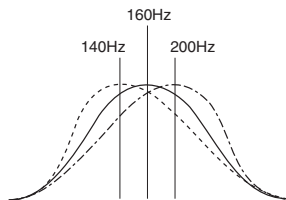
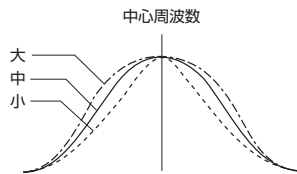
④ 登録 ボタンをタッチする。

中心周波数の値を表示

：設定した値が保存されます。

アドバイス

● 中心周波数と効果範囲の設定について

● 中心周波数を調整することによってレベル補正の中心となる周波数を設定することができます。

● レベルを調整したときのレベルの効果（変わりかた）を設定することができます。
大…中心周波数付近で効果範囲が大きくなります。
中…大と小の中間となります。
小…中心周波数付近で効果範囲が小さくなります。

● 調整した値を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

①イコライザ画面で初期化したい音質ボタン（ポップス／ロック／ジャズ／ユーザー）をタッチする。

② 初期化 ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

設定を終わるには…
画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

● イコライザ画面で OFF ボタンをタッチすると音質効果なし（±0のフラット状態）となります。

● 登録 ボタンをタッチする前に 戻る ボタンをタッチした場合、設定した値は保存されずAV MENU画面に戻ります。

● 手順 3 で音質を選択（イコライザの設定を）するとSRS CS Auto（ 31、32ページ）は自動的に OFF 選択となります。

● イコライザ設定中はオーディオ画面のとき EQ マークが表示されます。

オーディオ画面（USBモード画面（例））

スピーカーを設定する☆

☆印：HS709D-A／HS709D-W

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時（☞31、32ページ）の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置／大きさ	LARGE	NORMAL
フロント	17cm以上	17cm未満
リア	17cm以上	17cm未満

※AV電源OFFの場合、スピーカーの設定をすることはできません。

オーディオ画面でパネルの メニュー ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は メニュー ボタンを2回押します。

2

画面の AUDIO設定 の スピーカー ボタンをタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

画面調整画面（例）

3 左記表を参照して画面の LARGE ／ NORMAL ボタンをタッチする。

スピーカー設定画面

選択した結果が反映される

アドバイス

スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー（大きさ）を選択してください。

4 設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

オーディオの調整をする(5)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

フェード・バランスの調整をするには

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

BASS（バス）：低音域の調整 ／ TREBLE（トレブル）：高音域の調整
BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整 ／ FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整

※AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1 オーディオ画面でパネルの メニュー ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は メニュー ボタンを2回押します。

2 画面の AUDIO設定 の フェードバランス ボタンをタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。

画面調整画面（例）

アドバイス

AV MENU画面につきましては 21ページを参照ください。

調整したい項目(BASS／TREBLE／BALANCE／FADE)の − ／ ＋ または ◀ ／ ▶ または ▼ ／ ▲ ボタンをタッチする。

HS709D-A／HS709D-W(☆)

HS309-A／HS309-W

後席独立 ボタンは後席選択のとき後方スピーカーから聞こえる音を独自に設定することができます。☞40ページ

- BALANCE(バランス)とFADE(フェード)の場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。

BASS(バス)(−5〜+5)

− ボタンタッチ
：低音が弱まります。

＋ ボタンタッチ
：低音が強まります。

TREBLE(トレブル)（−5〜+5）

− ボタンタッチ
：高音が弱まります。

＋ ボタンタッチ
：高音が強まります。

BALANCE(バランス)（左9〜右9）

◀ ボタンタッチ
：右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンタッチ
：左スピーカーの音量が下がります。

FADE(フェード)（前9〜後9）

▼ ボタンタッチ
：前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンタッチ
：後ろスピーカーの音量が下がります。

アドバイス

- BASSの値を調整するとイコライザ画面のBand1の値が、TREBLEの値を調整するとBand7の値がそれぞれ変化します。☞「イコライザ(音質)を変えるには」33〜35ページ
- ☆：通常時の場合の画面です。後席音声独立時のフェード・バランス設定画面につきましては次ページをご覧ください。

オーディオの調整をする(6)

HS709D-A
HS709D-W

■ 後席音声独立設定をする場合☆

☆印：HS709D-A／HS709D-W

後席選択(後席ソース画面 ☞496ページ)で後席操作するモードを選択し、音声独立をON(表示灯点灯)にしている場合、フロントとリアで左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

後席ソース画面

表示灯点灯させている場合に

フロント／リアの調整をすることができます。

フェード・バランス設定画面
(後席音声独立時)

①調整したい空間(フロント ／ リア)ボタンを選ぶ。

②◀／▶ボタンをタッチして値を調整する。

アドバイス

- 車内イラストは音の設定位置をあらわすイメージ図です。
- 後席選択 ☞（496ページ）で音声独立をOFFにしている場合は 後席独立 ボタンは選択できません。
- 後席音声独立を設定している場合は、SRS CS Autoの効果は得られません。

設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

フェード・バランス設定画面（例）

- センター ボタンをタッチすると BALANCE ／ FADE の値が0になり、ポイントが中心線上に戻ります。

- 調整時に − ／ ＋ ／ ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。